

令和3年度 第3回東京都保険者協議会保健活動部会 会議要旨
委員定数 11名

1 開催日時 令和4年2月2日（水） 午後2時30分～午後4時6分

2 開催会場 Web会議形式にて開催（AP市ヶ谷5階Dルーム）

3 出席者 【10名】

東京都担当部署	1名
全国健康保険協会東京支部代表	2名
健康保険組合代表	3名
国民健康保険の区市町村代表	1名
国民健康保険の組合代表	1名
共済組合代表	1名
東京都後期高齢者医療広域連合代表	1名

4 会議次第

○開 会

○議 題

- (1) 令和3年度 特定保健指導等プログラム研修会（専門職編、中・上級編）及び令和3年度 保健事業に関する研修会について【報告】
- (2) 令和4年度 特定保健指導等プログラム研修会及び保健事業に関する研修会のテーマ及び講師候補について【協議】
- (3) 保険者協議会の協働の取組について
・促進月間等を活用した広報活動に関する取組について【報告】
- (4) 保険者の取組事例の構造化について【報告】
- (5) 令和4年度の取組について【協議】
- (6) 令和4年度 実施計画（案）について【協議】
- (7) その他

○閉 会

5 会議要旨

（事務局）

議題(1) 令和3年度 特定保健指導等プログラム研修会（専門職編、中・上級編）及び
令和3年度 保健事業に関する研修会について【報告】

【資料1】を用いて説明

（部会長）

意見、質問はないか。

（特になし）

（事務局）

議題(2) 令和4年度 特定保健指導等プログラム研修会及び保健事業に関する研修会の
テーマ及び講師候補について【協議】

【資料2】を用いて①特定保健指導等プログラム研修会【専門職編】テーマ及び講師候補について説明

(部会長)

意見、質問はないか。

(特になし)

(部会長)

1人1回、専門職編のテーマとしてふさわしいものに挙手をお願いしたい。

[保健指導]7名/[睡眠]3名

(部会長)

テーマの候補は第1順位を保健指導、第2順位を睡眠とし、講師候補については事務局で調整させていただきたい。

(事務局)

【資料2】を用いて②特定保健指導等プログラム研修会【中・上級編】テーマ及び講師候補について説明

(部会長)

意見、質問はないか。

(健康保険組合を代表する副部会長)

講師候補が3名ずついるが、依頼する順番はいかがか。

(事務局)

講師の依頼順は講師の活動拠点等も考慮しつつこれから検討する。

(健康保険組合を代表する副部会長)

テーマを決める際にどの講師によるかも関わってくるのでお聞きした。

(部会長)

記載の順番は依頼の順番に関係あるのか。

(事務局)

確定ではないが、上から順にといった思いは多少ある。

(部会長)

資料の備考欄を読むとできればこの順番でいきたいという思いはあるように伺える。

その辺りを含めてまた意見をいただきたい。

(健康保険組合を代表する者)

個人的に竹林先生は存じており、話がすごく面白いので良いかと思う。

(部会長)

どこで話を聞いたのか。

(健康保険組合を代表する者)

健康保険組合連合会東京連合会の集まりで講演されていた。

(部会長)

健保では知られている方なのか。

(健康保険組合を代表する者)

主に健保の役員では知られている。

(健康保険組合を代表する副部会長)

現場の者もよく竹林先生のお話は伺っている。

(部会長)

他に質問、意見はないか。

(特になし)

(部会長)

1人1回、中・上級のテーマとしてふさわしいものに挙手をお願いしたい。

[栄養・食事]7名/[ナッジ理論]3名

(部会長)

講師の依頼順について、栄養・食事の先生で意見はあるか。

(健康保険組合を代表する副部会長)

佐々木先生は栄養の中でも最新で、非常に分かりやすく違う角度からも今のトレンドの話をしていただけるかと思う。全体の栄養ということであると佐々木先生がよい。

(部会長)

他に講師についてご意見はあるか。

(共済組合を代表する者)

委員からの推薦があったということだが、どんな推薦の内容だったのか差し支えない範囲で教えていただきたい。

(事務局)

有限会社クオリティライフサービスの小島先生は1名の委員から推薦があった。こちらの先生は食コンディショニングを提唱しており、他団体の研修会で実績があることから事務局案としている。

具体的には栄養指導を結果につなげるセミナーを開催しており、特定保健指導の秘訣や体内時計とメタボの関係性などをお話いただける先生である。

東京大学の佐々木先生は、2名の委員から推薦をいただいている。

日本人の食事摂取基準の策定検討会の構成員及びワーキンググループの座長を務めた先生で、栄養学で権威のある先生である。

(部会長)

協会けんぽで推薦した部分について、何か補足があればお願いしたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する者)

2名の先生とも直接面識はないが、どちらも私ども協会けんぽの専門職である保健師かぜひこの2人のお話を聞いてみたいという意見があり、挙げさせていただいた。

小島先生は、専門紙で連載しており、その記事がとても興味深かったため、詳しい内容を聞きたいと保健師から聞いている。

佐々木先生は、職員が他支部配属時に先生の講義を受講する機会があり、それが大変好評だったというところで推薦させていただいた。

(部会長)

他に佐々木先生についていかがか。

(共済組合を代表する者)

私もこちらの保健師から、実際に話を聞いて非常によかったということで推薦した。

(部会長)

委員の話から栄養・食事の先生は、まず佐々木先生を当たっていただきたい。

(部会長)

先ほど専門職編で保健指導、睡眠の順で優先順位をつけたが、保健指導は内容が講師によって分かれるが、どちらがよいか。事務局で講師について補足はないか。

(事務局)

上谷先生はアドラー流心理学を使った面接技法についてご講義いただける先生で、今年の専門職編の講義が大変ご好評であり、継続の希望を受講者アンケートで多数お寄せいただいた。

他方の動機づけ面接は、委員2名からご意見をいただいた。調べたところ、動機づけ面接が実際の医療現場で使われているカウンセリング技法であり、禁煙や生活習慣病などの患者をカウンセリング時に使われている。こちらを活用した保健指導の面接技法についてご講義をいただきたいと思い、候補に挙げている。村田先生は都内の薬剤師会や他県の内科学会で講義実績があり、候補に挙げさせていただいている。

(部会長)

上谷先生はアンケートから継続意見があり、一方、動機づけ面接は委員からの意見があったということだが、委員で補足はあるか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

村田先生は存じ上げませんで、動機づけ面接をテーマとして取り上げたらどうかと提案させていただいた。

(部会長)

そうすると、依頼は上谷先生、村田先生の順でよいか。

(委員賛成の反応)

(部会長)

では専門職編はこの順番でお願いしたい。

(事務局)

【資料2】を用いて③保健事業に関する研修会 テーマ及び講師候補について説明

(部会長)

意見、質問はないか。

(健康保険組合を代表する副部会長)

この研修会に参加される方たちの経験年数はどこがボリュームゾーンか。

(事務局)

こちらの研修会は事務職と専門職が学べるような内容としており、特に何年以上という設定は特段定めていない。

(部会長)

資料1ページに対象の目安が出ているように、初級編が特定健診等に係る担当者の初任者で、専門職編が保健師、管理栄養士等の専門職、中・上級編が特定保健指導等に係る担

当者、簡単に言うとそれ以外の保健事業等の事務局、あるいは担当者という広いターゲットが保健事業に関する研修会になるかと思う。

(健康保険組合を代表する副部長)

実際の参加者がどのくらいの層なのか、担当になってからの経験年数はアンケートでは集計していないのか。

(事務局)

実際、何年以上という統計は取っていない。今年だと事務職の方が6割ちょっと、その他が専門職の方で、事務職と専門職、両方の方がご参加いただける内容を毎年実施している。

(健康保険組合を代表する副部長)

経験年数によって、ある程度知識が違うかと思ってお伺いした。例えば新しい方が多い場合は生活習慣がよいと思う。広報になると1年目だと少し難しく、少し経験してからの方がいいかと思う。

(部長)

他に質問、意見はないか。

(特になし)

(部長)

1人1回、保健事業に関する研修会のテーマとしてふさわしいものに挙手をお願いしたい。

[生活習慣病]6名/[広報]4名

(部長)

講師について、意見はあるか。

(特になし)

(部長)

事務局で優先順位は上から記載しているので、順番に依頼することとする。

(事務局)

【資料3】を用いて保険者協議会の協働の取組について説明

(部会長)

質問、意見はないか。

(特になし)

(部会長)

ジェネリックは今の状況下では東京支部でもなかなか難しく、この間親会等々でも意見が出ているが、やはり医療費適正化には非常に効果のある事業なので、実際使用する方に混乱のない形で進めていければと思う。

(事務局)

【資料4】を用いて保険者の取組事例の構造化について説明

(部会長)

質問、意見はないか。

(特になし)

(部会長)

今回の構造化を対応した全国健康保険協会東京支部の今井委員から、感想を含めて内容の話等をお願いしたい。

(全国健康保健協会東京支部を代表する者)
構造化事業「特定保健指導」について説明

(部会長)

質問、意見はないか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

一番大変だったことと、どんな点で専門職が有効だったかの2点をお伺いしたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する者)

1点目は、何をアウトカム指標にしてよいか難しかった。最初は特定保健指導対象者該当率だけでいったが、これだと不十分で、そこで頭を悩ませた。

2点目と話が繋がるのだが、その設定をする中で、課題と目標をどうするかが事務側の人間と専門職の人間で考え方が違って、専門職は現場の加入者の方達と直に接しており、色々な知見もあるので、課題の設定や目標をより現実的で効果のある意見をいただいた。

(部会長)

こちらの対応を企画総務部長としてやらせていただいていた中で、事務方が数字や目標を立てているが、どれならまずはやれそうかという点で見ると、事務方の人間としても考えさせられ、こういうものを1つ一緒に作成して出してみるのよかったと感じている。

私どもの東京支部の会議でも基礎資料にでき、この中身は事業担当としてもありがたい内容だったので、ぜひこういうものを保険者さんに展開して活用していけると議論の土台としてはいい資料だと思う。

(事務局)

【資料5～7】を用いて令和4年度取組、令和4年度 東京都保険者協議会保健活動部会 実施計画(案)・年間スケジュール(案)について説明

(部会長)

質問、意見はないか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する者)

データ分析の関係で、分析項目を検討後、データ分析部会で各保険者の分析をすると、カルテではトライアル的に任意保険者が行ったが、想定としては全保険者で分析を行うのか。

(事務局)

東京都全体の傾向、東京都の健保組合などの数は多いので、一部になるかもしれないが、データ分析部会の委員の中でご協力いただける保険者様をお願いしたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する者)

データ分析部会に私のグループの職員が委員としており、データの量が東京支部は多いので、このスケジュールで果たして分析できるかというところでお聞きした。

(部会長)

この内容自体は、データ分析部会でかなり考えながらやっていると私も聞いているので、そこで進捗等、可能であれば保健活動部会のほうでも共有したいと思っている。

(部会長)

他に何かあるか。

(特になし)

(部会長)

以上で本日の議事は全て終了する。

閉 会